

The 40th 第40回東京モーターショー2007

TOKYO MOTOR SHOW 2007 News vol.17



平成19年11月10日

世界に、
未来に、
ニュースです。

Catch the News,
Touch the Future.



張会長ユーザーミーティング

東京モーターショーシンポジウム2007

「みんなで語ろう!クルマの夢、楽しさ、素晴らしさ」



〈出席者〉 ■一般ユーザー代表：30人
■パネリスト：張 富士夫(日本自動車工業会 会長) 石川 真禰照(モータージャーナリスト) 眞鍋 かをり(タレント)
■コーディネーター：赤池 学(ユニバーサルデザイン総合研究所 代表取締役所長)
■主催：日本自動車工業会

11月8日開催

日本文化に根付くクルマ作りに期待

「今日はお集り頂いたユーザー代表の皆様から、どんなお話がでてくるのか、胸をワクワクさせながら期待しております」——主催者を代表して挨拶に立った張富士夫会長の呼びかけで、張会長ユーザーミーティング「みんなで語ろう!クルマの夢、楽しさ、素晴らしさ」が始まった。

会場は幕張メッセ国際会議場2Fの国際会議室。一般からの公募に応じて参加したクルマユーザー30人をステージ上に迎え、会場内のモーターファンも一緒になって自動車業界トップと直接対話するという試みは、東京モーターショーで初めて。

それだけに来場者の関心は高く、場内満席で熱く盛り上がる中を、コーディネーターの赤池氏が張会長も加わったパネリスト3人とユーザー代表たちとの討論のやり取りを巧みに誘導しながら、プログラムが進行。「クルマを使うことで生活に楽しさや夢を感じますか?」、「未来のクルマについて」など討論テーマは4つ。

コーディネーターの「乗ってみたいクルマの種類やクルマ選びの基準は」、との問いかけにユーザー代表とパネリストの石川、眞鍋両氏がさまざまな感想や意見を述べ、熱心に耳を傾けていた張会長がメーカーとしての取り組みや対応課題などを分かりやすく、ていねいに説明するといった展開が続く。

ユーザー代表の発言の時々には張会長が共鳴する場面も多く、「入社当時の月給手取りが8,000円で、とてもクルマは買えない。そこで先輩の『パブリカ』を借りて(本社のある)豊田市から名古屋まで一杯のコーヒーを飲みによく出かけたが、その時にクルマを運転することで世界が一気に開けた」と、半生を振り返って語るエピソードに来場者がうなずくシーンも。

最後に張会長が「皆様のクルマに対する期待の高さ、愛情の深さが良く分かりました。メーカーはワクワク、ドキドキする夢のあるクルマを作って、その楽しさや便利さを広く世の中に知ってもらい、クルマ文化を日本の中に根付かせる。期待して下さい」と力強く結び、ミーティングは午後4時に終了した。

(関連記事4面)

クルマの進化をリードする技術が幕張に集結

クルマの進化を担うのは、何も完成車メーカーばかりではない。環境・省エネ、安全といった“サステナブル・モビリティ”関連、クルマをより楽しく魅力的なものにする商品力向上、さらには遠い将来のクルマ像を見すえた未来技術など、クルマ作りのあらゆる要素についての今と未来を一望できるのが、北ホール、西ホール、タイヤ・オーディオ館に展開される部品エリア。出品者数は183社4政府1団体、ワールドプレミア技術は95、ジャパンプレミア技術も37と、国際モーターショーにふさわしい充実した展示内容となっている。

環境技術

Environmental Technologies

二酸化炭素の排出量削減や省資源などの環境技術は、クルマのイノベーションの目玉だ。エンジン、トランスミッション、タイヤなど、多彩な分野の要素技術が展示されている。

エンジン関連ではまず、ガソリンエンジンの吸排気効率や燃焼効率を上げる技術として、デンソー、日立製作所などが電動可変バルブタイミング機構を展示。ディーゼル技術については豊田自動織機の最新型V8ディーゼルエンジンユニット、デンソーやボッシュのコモンレールシステム、東京濾器のDPFおよび尿素SCRシステムなど多数が出品されている。

エンジンの内部機械損失の低減技術も多数提案されている。リケンなどピストンリング3社のDLCコーティングピストンリング、フジオゼックスの超軽量バルブ、マレの軽量ピストンなど多岐にわたっており、エンジンの効率はまだまだ向上しそうだ。またケーヒンがバイオエタノール車に使用するエタノールインジェクターを出品するなど、代替エネルギー技術の出品も見受けられる。

ハイブリッド関連では豊田自動織機のプラグインハイブリッド用充電ユニットをはじめ国内メーカーが多数を出品しているほか、ボッシュが新ハイブリッドシステムを参考出品するなど、外国メーカーも従来以上に力が入ってきたのが印象的だ。

トランスミッションではアイシンAWが最新モデルの8速AT、ジャトコも近日市場に投入する軽量・低価格の7速ATを出品



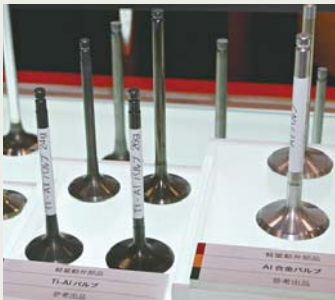
アイシンAWブースには最新のATがズラリ



豊田自動織機「プラグインHVチャージャー」



ボッシュも量産型ハイブリッドを出品



バルブ軽量化も燃費向上のカギ



シェフラー「ドライダブルクラッチ」



ミシュラン「エナジー セイバー」

トヨタ紡織はバイオ内装材を出品



日本精工「左右独立トロイダル CVT」

しているのははじめ、技術展示多数。日本精工は次世代技術のトロイダルCVTのデモを実施。シェフラーグループは機械式ATの効率を上げる乾式ダブルクラッチを、アイシン化工はATの効率を上げる高 μ s湿式摩擦材を出品するなど、既存のトランスミッションについてもさらなる性能向上が図られそうな勢いだ。

タイヤではミシュラン、ブリヂストンなどが転がり抵抗を劇的に減らしながら、ウェット性能をはじめとする性能を引き上げることに成功した新タイプの省燃費タイヤを出品している。横浜ゴムは80%植物油を原料とし、石油系ゴムの使用量を大幅に減らしたハイブリッドカー向けの新世代タイヤを展示。サスペンションではカヤバが環境にやさしいオイルフリーダンパーを参考出品するなど、省エネや脱石油の展示も目立った。



安全技術

Safety Technologies

安全技術についても多くのメーカーが独自技術を披露している。クルマをどのような状況でも安全に走らせるための次世代車両姿勢制御システム向け技術については、ジェイテクト、日本精工がステアバイワイヤーおよびタイヤ力検知ハブユニット、NTNも高分解能回転センサー付きハブベアリングを出品するなど、多くのメーカーがこぞって先進技術を出品。ブレーキシステムはブレボが新型日産「GT-R」用のユニットを単体展示、曙ブレーキは12ピストン、2枚ディスクという超強力ブレーキユニットを提案している。

視界を広げる有視界カメラ技術では、プリズムを使用して下方視界を大幅に広げた市光工業のバックガイド用カメラ、松下電器産業の全周囲カメラをはじめとする車載カメラなどが登場。先進安全システム関連についても、複雑な標識も識別するだけの能力と高速処理を実現したというデンソーの次世代画像認識システム、三菱電機のミリ波レーダーなど、新し



ジェイテクトのステアバイワイヤ



日産「GT-R」のブレーキも



NTNの次世代センサー付きハブ



統合安全システムの提案も多く見られた



松下電器の全周囲カメラ



城南製作所は日産「GT-R」向けのボンネット跳ね上げシステムを展示



デンソーの画像認識システムは驚異の高精度

い先端技術から、矢崎総業の後付けタイプの車間認識カメラといったシンプルなものまでさまざま。

受動安全についてもさまざまな革新技術が登場した。城南電気は歩行者保護技術としてボンネット跳ね上げシステムを、豊田合成はグリルエアバッグ、フードエアバッグを展示し、注目を集めた。

これら単体の技術と並んで注目されているのは、危険を見つける段階から回避、衝突した後までの技術を統合したセーフティータルソリューションの提案。コンチネンタルのコンチガード、シーメンスVDOのIPASなど総合部品メーカー勢に多く、完成車メーカーへの提案力をアピールした。

VISITORS INTERVIEW

来場者に聞く



世戸いづみさん

「クルマも、音楽も、男の子も、みんな超カッコいい！」

私ミーハーだからGT-Rとかレクサスとか、話題になってるクルマはみんな見て回った。今年のモーターショーは広々として照明が明るく、見やすかった気がする。トイレも多いし、座れる所も沢山あって、あまり疲れなかった。

バックミュージックに気を使ってるブースが多くなってみたい。生でやったMINIのDJ(ロンドンのアンディ・ニューカム氏)のクラブハウス・テクノ・ユーロビートが超ノリノリで、周りの子たちと一緒に私も踊っちゃった。アウディブースの、ショーの時だけじゃなくクルマの横にふつうにしてた男の子がマジでカッコよくて、みんなでキャーキャーしてた。



クルマの個性化、多様化を望む

張会長ユーザーミーティングは参加した一般ユーザー代表30人の内訳を中年の女性層、男性シニア層、男女の若年層に分けてバランスに配慮。パネリストは日本自動車工業会の張富士夫会長とモータージャーナリストとして造詣の深い石川真禎照氏、TV科学番組の経験豊富なタレント眞鍋かをり氏という妙味のある組み合わせで催された。

討論テーマは「クルマやクルマを使うことによる生活に夢や楽しさを感じますか?」、「クルマを持っていて良かったこと」、「クルマの選択基準」、「未来のクルマ」の4つが用意されていたが、対話がヒートアップしたのは「持たたい、乗ってみたいクルマ選び」。男性ユーザー陣が走行安定性のあるセダン系を多く選んだのに対し、女性層ではやはりスポーツカーやオープンカーなどカッコ良いクルマが人気を集めた。

これに関連して石川氏が「クルマの購入選択権が女性に移りつつある中で、メーカーは女性向きのクルマを考えるだけでなく、夫や相手の男性に乗って欲しいと女性が思うようなクルマも視野に入れるべき」とコメント。また「幼稚園児100人にクルマの絵を画かせたら、98人までがミニバンやワンボックスカーを画く」と、クルマの没個性化の影響を嘆いてみせる。シニアユーザーからは「持つこと、使うことに喜びや夢を感じるクルマがもっと多かった」と昔を懐かしむ声が聞かれ、「MT車が少なくなっ



「ユーザー代表者のご意見に期待しています」と、張会長

いる」と不満を述べる若年ユーザーも。

このあとの「未来のクルマ」では、空・水・陸兼用モビリティや運転者の気分がボディカラーが変色するクルマなど夢を楽しく語り合い、「乗れば乗るほど空気がきれいになるクルマ」の若者提案に対し、トヨタ自動車会長でもある張パネリストが「うちの社長もそう言っています」とさっそく応答。眞鍋氏が「酔っていても乗れる完全自動運転車がかったら」と物騒?なコメントを発するシーンもあったりした。

途中で、コーディネーターの赤池学氏(ユニバーサルデザイン総合研究所所長)が来場者席も合わせて「クルマに夢を抱いているか」と質問したのに、圧倒的多数が「抱いている」と回答。その夢を満たしてくれるようなクルマの個性化、多様化を望むユーザーの意見が、ミーティング全体を通じて印象的だった。

EVENT

今日のイベント(予定)

11月10日
(土)

<ライフスタイルパーク (西休憩ゾーン)>

- JAFロードサービスの実演
10:45~11:15 / 14:30~15:00
- 白バイ デモンストレーション
11:30~12:00 / 13:45~14:15
- ダブルダッチ
12:15~12:45 / 16:15~16:45
- トライアルデモンストレーション
13:00~13:30 / 15:30~16:00
- シンポジウム (国際会議場2階 国際会議室)
「第2回 日本ITS推進フォーラム
美しい日本、ドライブ旅行、
楽しく・賢く・快適に」
14:00~16:10

- 少年少女モーターサイクルスポーツスクール (中央休憩ゾーン)
午前の部: 10:00~12:05 (試乗券配布 9:30~)
午後の部: 14:00~16:05 (試乗券配布 12:30~)
- スロットカー・サーキット
9:30~19:00 (北ホール2階・キッズパーク)
- ミニシアター〜クルマの夢・楽しさ・素晴らしさ〜
10:40~12:25 / 13:05~18:30 (国際会議場3階 302号室)
- 4×4 アドベンチャー同乗試乗会
11:00~16:00 (幕張海浜公園Gブロック内 特設専用コース)
- セーフティドライブ体験試乗会
11:00~16:00 (幕張海浜公園Gブロック内 特設専用コース)
- クリーンエネルギー車同乗試乗会
11:00~16:00 (幕張海浜公園D・Eブロック内 特設専用コース)
- 商用車同乗試乗会
11:00~16:00 (幕張メッセ周辺公道
幕張メッセ南休憩ゾーン東側通路発着 東ホール東側)

※試乗券配布場所: 幕張メッセ南休憩ゾーン西側 ※天候等の都合により予定が変更になる場合があります。



高速・高画質・高品質 毎分65枚フルカラー出力

印刷から加工までインラインで高速処理。多様なニーズに応えるハイパフォーマンス。
*A4コピ

ON DEMAND PUBLISHER C65

The essentials of imaging

このニュースは、コニカミノルタ
ON DEMAND PUBLISHER
C65で出力しています。

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社
プロダクションプリント事業部
TEL. 03-5205-7820
URL. <http://konicaminolta.jp/pr/odp>

The 40th

TOKYO MOTOR SHOW 2007

11月9日の入場者数 68,100人

入場者数累計 1,187,500人

東京モーターショーニュースVol.17 2007年11月10日発行

発行所 社団法人 日本自動車工業会 広報室
〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目1番30号 日本自動車会館
TEL.03-5405-6119 FAX.03-5405-6136
WEB SITE www.tokyo-motorshow.com

JAMA